

2024年11月3日
11月第一主日礼拝式／聖餐式



「主は御座(みざ)におられる」

(黙示録7:10)

主はみ座におられる 聖なるお方
イエスの愛を受けて 賛美をささげよう

主のりんざいの中で 大いなる勝利を
ほふられた小羊に 心からさげぼう

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

【次】

「主は御座(みざ)におられる」

(黙示録7:10)

主の聖なるみやに 今われらは行こう
聖徒(せいと)らとともに主の
御前(みまえ)であがめよう

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

「主の教えを喜びとし」

主の教えを喜びとし

昼も夜も その教えを口ずさむ

その人は 水路のそばに

うわった木のようにだ

時がくると実がなり その葉は枯れない

その人は 何をしてても 栄える

新聖歌38番 「わが目を開きて」

- 1 わが目を開きて さやに見せ給(たま)え
今まで知らざりし 聖書(みふみ)の真実(まこと)を
* われ今 静かに わが主を待つなり
主よ与えたまえ 悟(さと)りを
- 2 鈍(にぶ)き耳なれど 声をかけたまえ
ただ主の御言葉に 従いまつらなん * (くりかえし)
- 3 主よ わが唇(くちびる) 解(と)きて歌わしめ
たえなる御恵みを 伝えしめたまえ * (くりかえし)
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌263番 「罪 咎(とが)を赦され 神の子とせられ」

1 罪 咎(とが)を赦され 神の子とせられ

大いなる喜び われにあり

* 麗(うるわ)しき笑顔と 力ある御手もて 常に導きたもう

イエスキミの 愛の広さ深さ われ歌わん

2 わが心は開き 感謝に満ちあふれ

新たなるほめ歌 常にあり * (くりかえし)

3 今 常世(とこよ)の岩に 支えらるる身は

陰府(よみ)をも 死をもなど 恐るべき * (くりかえし)

4 われ世(よ)にある限り イエスをほめ歌わん

天(あま)つ国に行かば なお歌わん * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン